

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却を実施することになっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	565,417,947	0	565,417,947	0
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
普通預金	2,620,525	565,200,000	0	567,820,525
小 計	598,038,472	565,200,000	565,417,947	597,820,525
特定資産				
助成事業積立預金				
定期預金	30,100,000	0	0	30,100,000
小 計	30,100,000	0	0	30,100,000
合 計	628,138,472	565,200,000	565,417,947	627,920,525

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	(30,000,000)	(0)	—
普通預金	567,820,525	(567,820,525)	(0)	—
小 計	597,820,525	(597,820,525)	(0)	—
特定資産				
助成事業積立預金				
定期預金	30,100,000	(0)	(30,100,000)	—
小 計	30,100,000	(0)	(30,100,000)	—
合 計	627,920,525	(597,820,525)	(30,100,000)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
什器備品	251,200	251,199	1

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	11,320,663
合 計	11,320,663